

山行 NO 山行 NO. 1818
日 時 2019. 05. 12 (日) 晴
山 域 丹沢・菰釣山 (1379m)
男子班=北東尾根~北尾根 女子班=北尾根~北東尾根
コース 男子=長泉 6:00-道志川・板橋—杣山沢 (駐車場)—北東尾根 7:39-別荘
「山口」 7:46-1130m 峰 8:40-北尾根 9:23-ブナノ丸 (縦走路)
9:44-菰釣山 10:04~56-北尾根—杣山沢の橋 (駐車場) 12:53
標高差 上り 杣山沢約770m~菰釣山1379m=約609m
下り //

参加者 男子隊=後藤・勝又・合谷 女子隊=加藤、星=5名

今回は丹沢・菰釣山 (1379m) を上るバリエーションルート。Aルート (北尾根)、Bルート (北東尾根) に分かれ、上りは女性班 (2名) Aコース、男性班 (3名)、Bコースをとり、帰りは逆コースを下ることになった。



駐車場



Aコースの女子班

男性班は別荘のような建物の「山口」と標識のある家の裏から鹿柵をぬけて尾根にとりついた。上ってすぐ作業用の道なのか歩き易くなっていた。

立派なシカ柵があった。ドアがあり、こちら側とむこう側で開閉が出来た。

その後 1100m 付近までは急登がつづき久しぶりの山行のため、息は荒く辛くなって来た。

1130m 峰は、広々とした気持ち良いところだった。ただ、北東に大きな尾根があるので要注意。ピークをすぎると平坦な気持ちの良い歩き易い尾根道がつづく。右手には、この辺りでは珍しい、カラマツ林があった。勿論、「テンカラ」(天然の唐松でない)。向かって右にはカラ松林、左にはヒノキの林の珍しいながめが続いた。

きつい上りを上りきると 1284m の女性班との合流地点の北尾根に出た。手製の道標があった。



1130m峰



右はカラマツ・左はヒノキ



スカイバレー・キャンプ場の道標

左・東海自然歩道30分、右・「スカイ・バレーキャンプ場」(北尾根下にある)50分とあった。女性班はまだ来ていないので先に行く。北尾根はある程度のふみ跡があった。ひと登りで菰釣山に右の山伏峠からの縦走路に出る。女性班にエールを送ると、下から声が聞こえた。女性班が短距離なのだが、遅い理由は不明だった。ここからまたひと登りで目的地、菰釣山に到着。今日は、道志村主催のトレイルラン日で世話役2名のオジサンがいた。話を聞くと800人はドガ参加しているが、最終的には半分くらい



菰釣山頂上



女子班



昼食



しか完走できないようで、チェックポイントで設定時間をオーバーすると失格になるようだ。少し待つと女性班もやってきた。遅れた理由は、「スマホが不調でルートに戻った」だが、2万5千円を持参していた訳だし、イマイチ状況が分からなかった。

時間はやや早かったが、ここで昼食。頂上からは富士山がかすんで見えたが山頂には雲がかかっていた。

昼食をすませ下山。帰りは男・女コースを入れ替える。北尾根1230m峰・前ノ岳先でふみ跡はなくなり、右の尾根に迷った。50mほど下り、「おかしい」で上り返した。左にイイ尾根が下っていた。

以後、順調に下ったが最後、標高900mで右の尾根に入り、杣山沢に降りてしまった。ここは左を降りるべきだった。沢を渡り左岸を下り、橋に出て無事帰着した。

女性班もしばらく後に無事到着、バリエーションルートは大変厳しいが充実した山登りができ楽しい一日でした。

地理院地図
(電子国土Web)

例：劔岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒 /

